

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	敬老祝金支給事業	担当課・係名	福祉課高齢福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	27
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者に対し、敬愛の意を表すとともに、その長寿を祝うため敬老祝金を贈呈				
対象 (誰を・何を)	当該年度の9月1日現在において大磯町に1年以上在住する満88歳、満99歳、満100歳以上の方				
内容	節目年齢(88、99、100歳以上)の高齢者に敬老祝金として現金1万円と祝詞を直接贈呈				
根拠法令・条例等	大磯町敬老祝金品贈呈要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,736	1,666	1,930
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,736	1,666	1,930
	職員人数(概算職員数)	人			0.29
	人件費計 (b)	千円			1,777
総事業費 (a)+(b)	千円	1,736	1,666	3,707	
事業費内訳 H 25 年度	扶助費：1,920千円      消耗品費：10千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 88歳、99歳、100歳以上の方	人	153	150	168
	②				
活動指標 (活動量)	① 対象者数	人	153	150	168
	②				
成果指標 (達成度等)	① 換金率(23年は商品券を支給)	%	93		
	② 祝金支給率(24年は現金支給)	%		100	100

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 職員が該当地区の民生委員とペアになり、効率よい訪問が可能である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 職員が高齢者を直接訪問し祝金の贈呈ができています。同時に安否確認、高齢福祉サービス等のPRが可能である。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 該当者に対して、直接訪問を行い祝金の贈呈ができています。また安否確認と高齢福祉サービス等のPRもできています。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 商品券の支給ではなく現金の支給とし、金額を一律としたため、効率的な事業となっている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 以前は敬老商品券を作成していたが、現金支給とし、金額も祝金の趣旨を踏まえ、一律とするなど改正を行なった。支給方法も直接渡しとし、安否確認を直接行なうことを実施。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 アンケートなどでニーズ把握を行なうことが可能と考えている。	

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	今後高齢者の増加に伴い対象者の増による財政負担が考えられる。対象者の限定などが必要か検討してみる。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年度は、制度改正を行わず実施予定。 対象者は198名。民生委員の交代があり、新しい民生委員と職員で対象者を訪問予定。 引き続き安否確認や町で行なっている高齢福祉のサービスをPRしていく。 高齢者福祉計画策定の基礎資料となる事前調査の中で、制度について町民の考えを伺えたところを受け、平成27年度以降の制度の実施について検討をする。
--